

⑧緊急輸送道路が通行止めになった場合の代替路線を形成

- ・国道158号(大野市貝皿～大野市東市布)が通行止めになった場合の代替路線となる。

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・平成28年8月、中部縦貫自動車道大野油坂道路整備促進連絡協議会(大野市長、大野市議会議長、大野商工会議所会頭、大野市区長連合会会長他より構成)より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成28年7月、福井県知事より整備促進の要望を受けている。
- ・平成28年10月、福井県知事、大野市長、勝山市長より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成28年8月、大野市長、郡上市長より早期全線開通の要望を受けている。
- ・平成28年8月、大野・勝山地区広域行政事務組合(勝山市長、大野市長、大野・勝山地区広域行政事務組合議長、副議長より構成)より早期全線開通の要望を受けている。

福井県知事の意見：

一般国道158号大野油坂道路(和泉・油坂区間)の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。

大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた平成34年度までの全線開通が図られるよう必要な予算を確保するとともに、本区間及び大野・大野東区間の速やかな用地買収・工事着手と大野東・和泉区間の迅速な工事の実施をお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道158号大野油坂道路(和泉・油坂区間)」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針(原案)のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・事業区間沿線の福井県大野市は、近年、人口は減少傾向、世帯数、自動車保有台数は横ばい傾向にある。
- ・大野油坂道路のうち、未事業区間であった大野・大野東区間は、平成27年度に事業化し、現在、全線に渡って事業を推進している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地進捗率：約4%、事業進捗率：約2%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き用地取得を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば 当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。